

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.290

2020.11/10 (火曜) 17:00 発表

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### No.1778 長期継続前兆 続報 最も早い場合の発生 12月03日±の可能性検討中 但し、11月23日±に前兆変動終息が観測された場合 終息無い場合は再考

No.1778 長期継続前兆変動についての続報です。前続報公表から更新が遅くなりましたこと、深くお詫び申し上げます。日々 E-mail FAX で配信しております。地震前兆検知観測情報では、最も早い場合の推定時期として12月03日±の可能性をかなり前から公表しておりました。検証となる前兆変動の終息等変化を確認するため、HPでは遅くなりました。

右図1の前兆変動出現状況図のとおり、現時点での最終極大として、10月25日の火山近傍地震前兆変動（楯歯変動）があります。この10月25日極大に対し、仮に12月03日±発生となる場合には11月23日頃まで前兆変動が継続出現する可能性があるため、現時点ではまだ確定はできず、あくまでも考え易い可能性として12月03日±の可能性を検討しています。11月23日±に前兆変動終息が観測された場合は確定できますが、終息が観測されなかった場合は再考予定です。

この10月25日に観測された火山近傍地震前兆変動（楯歯変動）を観測した複数観測装置（ハヶ岳と秋田観測点の複数観測装置）及び、この極大に関連すると認識される複数の特異変動の影響局から推定される領域を経験則を使用して作図しますと、右図2の太線領域内となります。この領域内で気象庁公表の活発な火山は浅間山・草津白根山・榛名山があり、火山近傍領域として図2の斜線領域が推定領域となります。図3の以前から推定しているNo.1778推定領域と調和していることがわかります。今後の観測で、11月23日±に前兆終息変化が観測されるか確認し、続報させていただきます。

No.1778 Stage-25 後半 2019年5月末～2020年11月

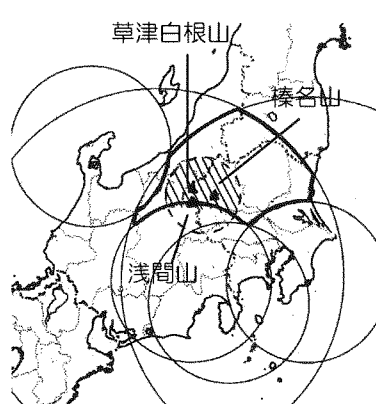
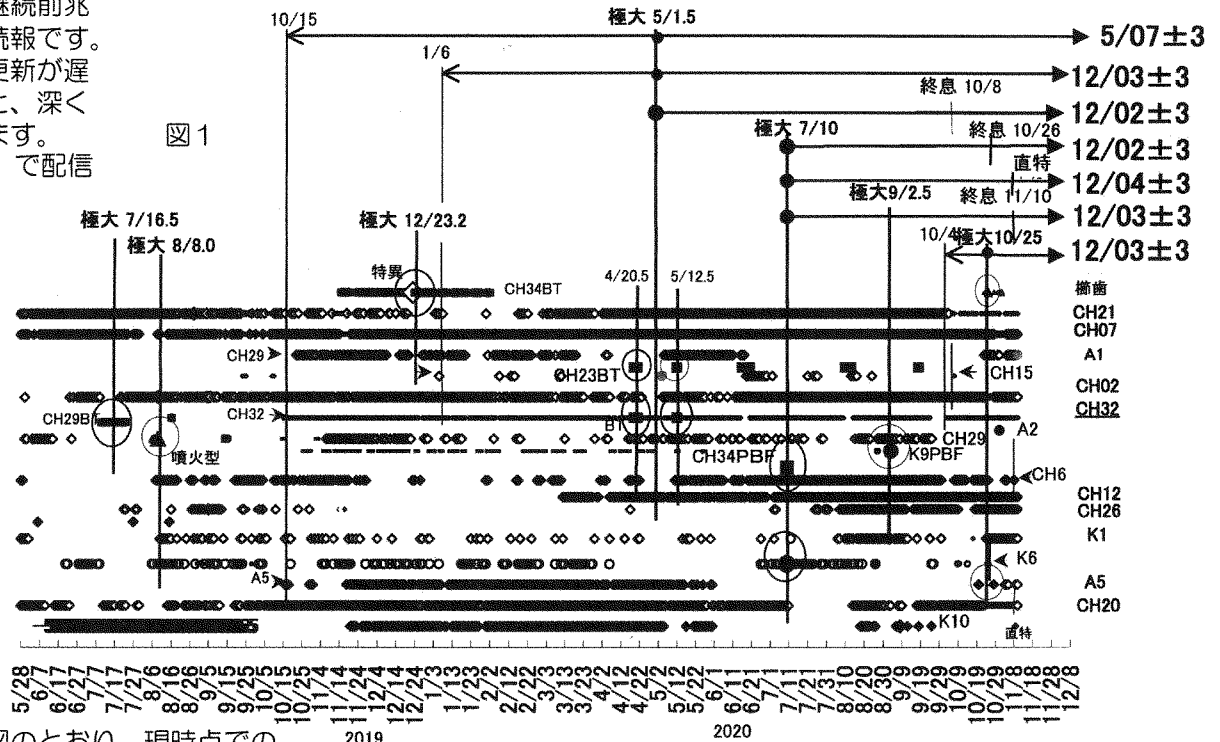


図2 火山近傍地震前兆変動から推定される領域

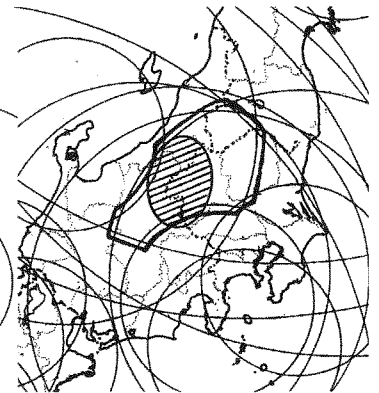


図3 No.1778長期前兆から推定される領域

- 推定領域：図2・3の斜線域の可能性（太線内は大枠推定）
  - 推定規模：M7.8±0.5
  - 推定時期：現状は12月03日±が考えやすいが11月23日±に前兆変動終息無い場合は再考予定
  - 浅い地殻地震
  - 午前09：30±1.5hまたは17：00±3発生の可能性有
- 根拠等詳細は続報No.287の2頁以降を参照下さい